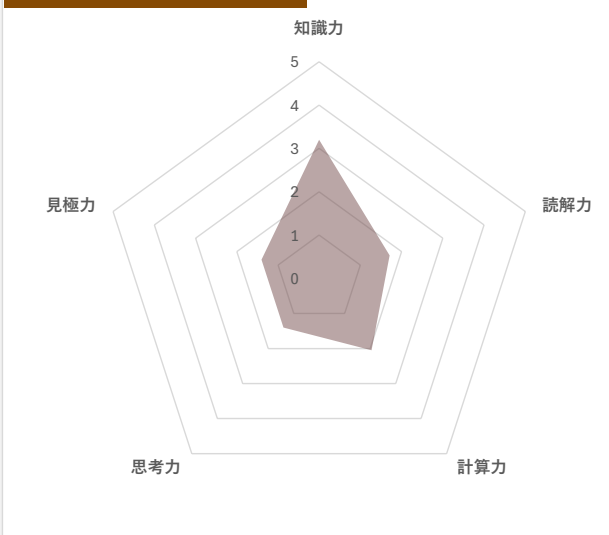


総合分析

試験区分 N方式

制限時間 60分 (化学単科60分) 大問数 全 7 問

合格に要する能力 (5段階)



出題分野

理論	72%
無機	3%
有機	25%

本年度出題テーマ一覧

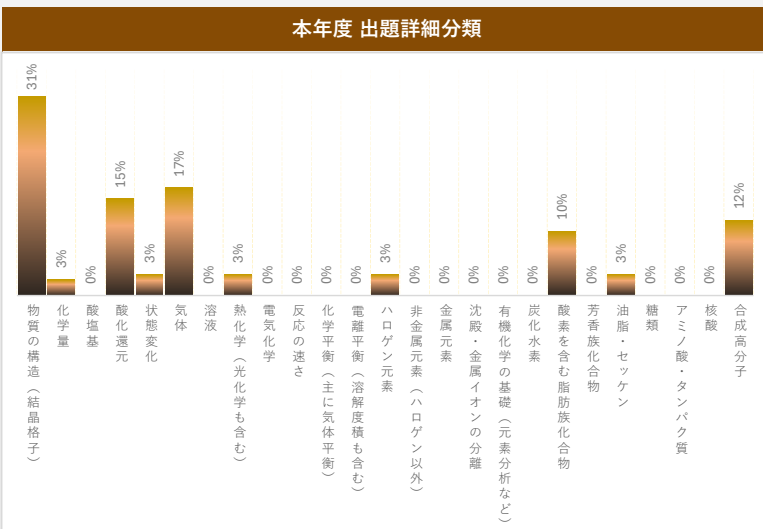
第1問	元素の周期表と元素の性質
第2問	酸化還元反応
第3問	状態変化
第4問	状態変化と圧力
第5問	結晶の構造
第6問	有機化合物の性質と反応
第7問	合成高分子

本年度 解答形式

選択肢 100%

合格に要する能力 (5段階)

知識力	3.0	物質, 反応, 解法の知識
読解力	1.5	問題文から必要な情報を抽出できるか
計算力	1.9	手際よく正確に計算できるか
思考力	1.2	基礎知識や問題文から推測する力
見極力	1.2	解きやすい問題を選択する力



特殊問題の有無	数値計算あり	グラフあり	正誤問題あり	理由記述なし	図表あり
---------	--------	-------	--------	--------	------

特記事項 特になし

総合評価

難度	1.7	最難を5とする問題自体の難度	やや易しい	一次合格に必要な正答率 (予想)	90%
分量	47分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	やや少ない	極めて高い正答率を要する	

入試の特徴と対策

▶ 入試問題としてありふれた題材が多い。単純に演習量で十分に対策できる。

入試から見る 大学が求める学生像

教科書レベルの問題が多く悩む問題はほとんどない。答えが容易に選べる問題も多い。したがって、標準問題をしっかりマスターしたり、基本知識の抜けや苦手な単元が無いようにしたりする必要がある。日大の問題は基本的には満点狙いで対策をするとういでしょう。